

SAMPLE

特集レポート No. 037

書籍・音楽流通におけるリアル店舗復活の可能性

Strictly Confidential



2017年 6月28日

はじめに

- 国民の書籍離れやインターネット通販の台頭、電子書籍の普及などを背景とした書籍市場の縮小、音楽配信サービスの普及などによる音楽ソフト市場の縮小にともない、中小から大手にいたるまで書店やレコードショップの閉店や廃業が相次いでいる。
- こうした厳しい業況の中、書店・レコードショップ各社はリアル店舗において、特定分野に特化した専門店やカフェ併設型の店舗の展開などさまざまな施策を講じて生き残りを図っている。
- 本レポートでは、こうした書店を中心に各社のリアル店舗戦略の方向性や、近年独立系書店を中心に回復基調を見せる米国書店業界の事例を紹介することでリアル店舗復活の可能性を考察する一助としたい

本資料の流れ



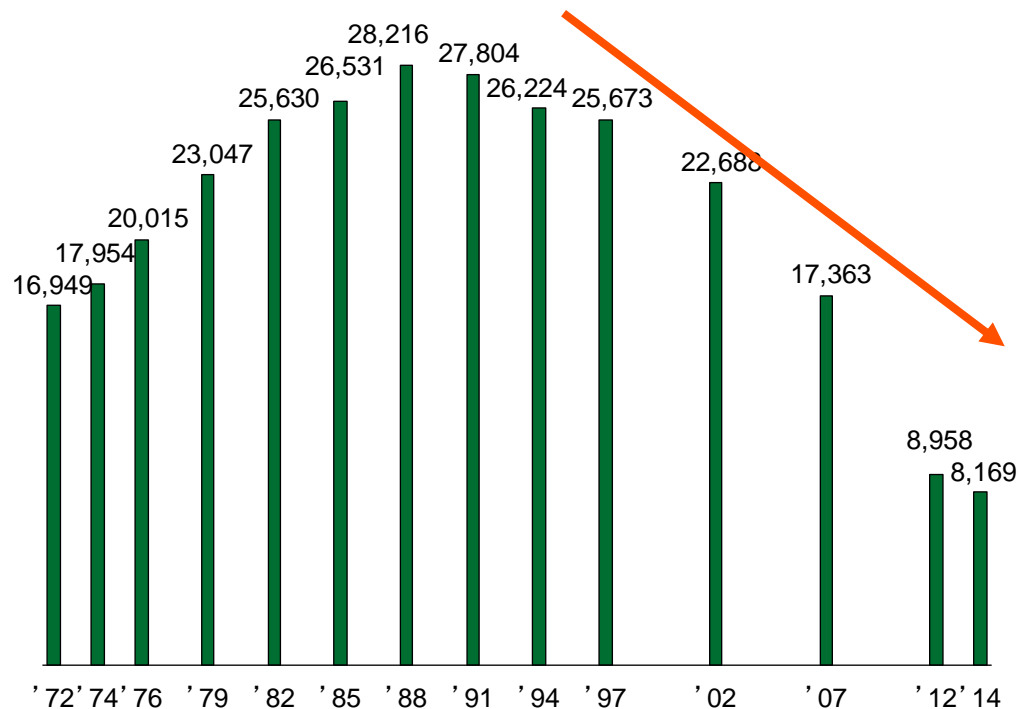
- I. 書店・レコードショップを取り巻く業界環境
- II. リアル店舗の生き残り戦略
- III. リアル店舗復活の可能性

書店数、CD生産額の減少

- 書籍・雑誌小売業(古本を除く)の事業所数は、1990年代以降減少の一途をたどり、2014年は全盛期の1/3以下
- CDの生産額も2012年の一時的な増加を除き、減少が続いており、2014年は2007年の1/2程度に半減
 - iTunesなどの有料楽曲配信サービスやYouTubeなどで無料視聴の拡大などが要因

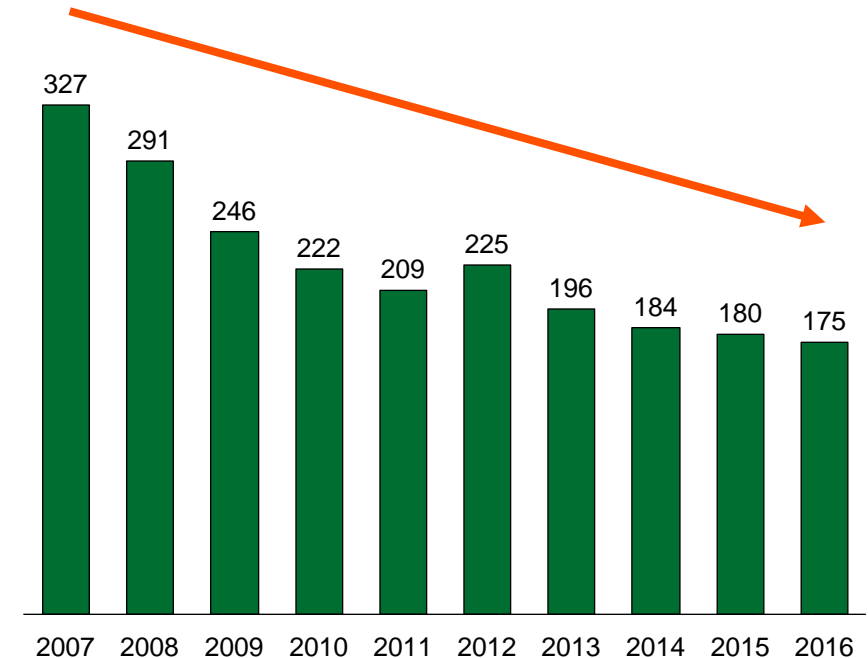
書籍・雑誌小売業(古本を除く)の事業所数推移

(単位: 事業所)



CDの生産額推移

(単位: 十億円)

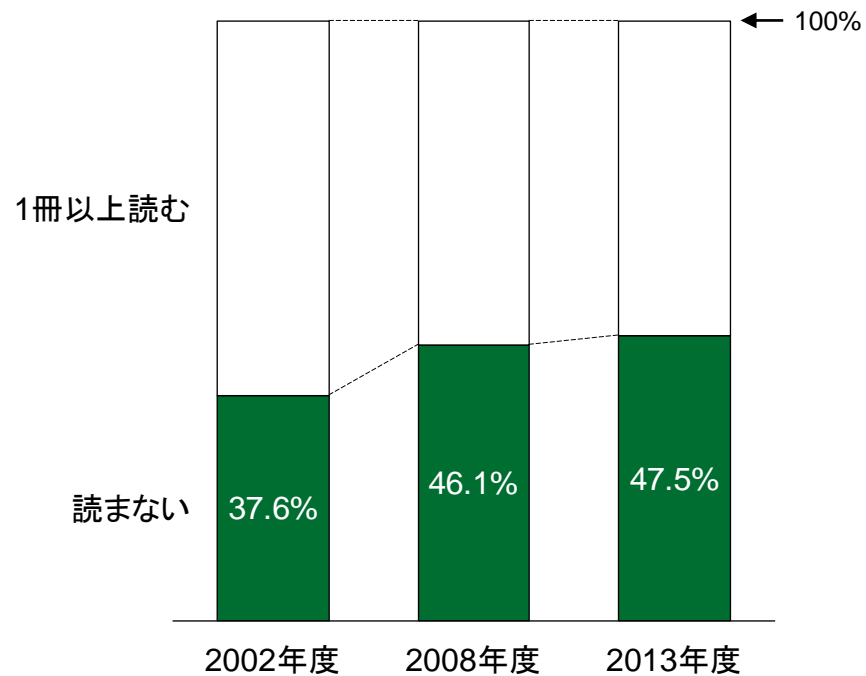


出所: 経済産業省「商業統計」、一般社団法人 日本レコード協会

書店数減少の背景①～日本人の本離れ

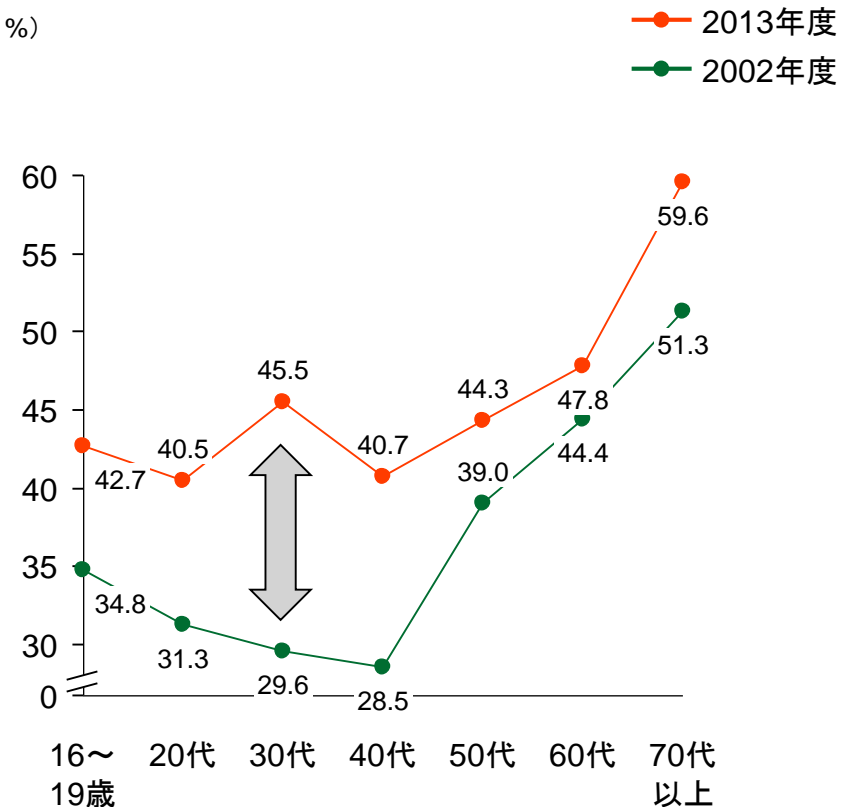
- 1か月に全く本を読まない人の割合が増えている
- 特に、10代～40代までの若年層の本離れが進行している

1か月に読む本の数



1か月に1冊も読まない人の年齢別割合

(単位: %)

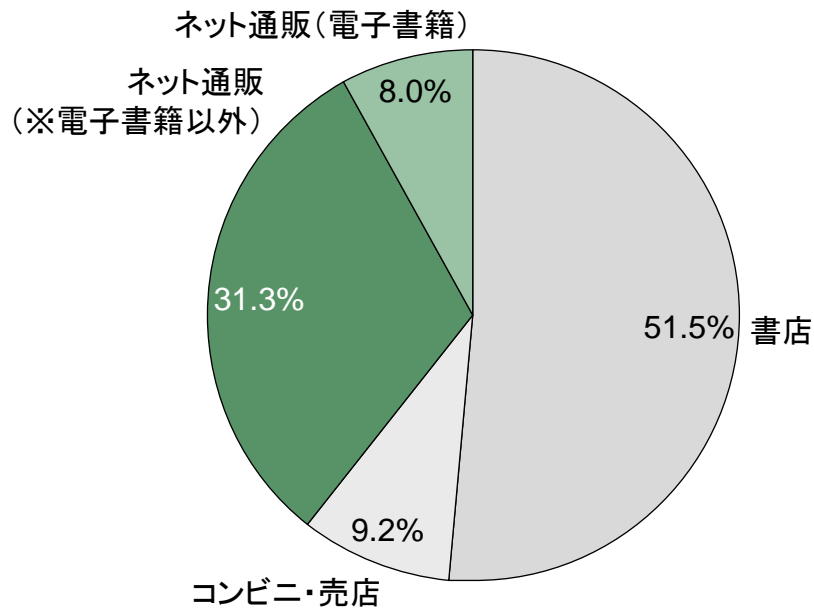


書店数減少の背景②～インターネット通販の拡大

- 2000年代初頭から拡大を続けるAmazonをはじめとしたインターネット通販サイトを利用した書籍購入が拡大
 - 過去1年間に書籍購入に利用したチャネルとしては、「書店」が51.5%、「ネット通販(電子書籍以外)」が31.3%

過去1年間に書籍購入に利用したチャネル

(n-1,618 複数回答)



大手ネット書店

異業種系

- Amazon.com
- 楽天ブックス
- セブンネットショッピング
- ローチケHMV
- ヨドバシドットコム
- ⋮

書店系

- TSUTAYAオンラインショッピング
- ブックオフオンライン
- 紀伊国屋ウェブストア
- honto
- Honya Club
- ⋮

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

